

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
利益配当金の株主確定日	毎年3月31日
基準日	毎年3月31日 上記の他必要がある場合は予め公告して臨時に基準日を設けることがあります。
定時株主総会	毎年6月
公告掲載新聞	東京都内で発行する日本経済新聞
IR情報掲載URL	http://www.ensuiko.co.jp/iridxj.htm
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所等	


	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話でのお問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話でのお問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。

第77期 報告書

平成21年4月1日 ▶ 平成22年3月31日




「オリゴのおかけ」を使った「バナナッフル・レアチーズケーキ風」
※詳しいレシピはオリゴのおかけHP「夏レシピ」をご覧ください。
http://www.oligo.jp/club/recipe_summer.html

 塩水港精糖株式会社

ホームページアドレス

<http://www.ensuiko.co.jp/>

 塩水港精糖株式会社

証券コードNo.2112

Contents

株主の皆様へ	2
連結財務諸表の概要	7
財務諸表の概要	9
会社概要	11
PR	13

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。また平素は格別のご高配を賜り、有難く厚く御礼申しあげます。

当社は食品メーカーとして、砂糖事業並びに糖質ファインケミカル事業において、常に最新技術による製品の開発・製造に取り組み、企業価値の創造と増大に努めて参ります。

また、高品質で安全な製品を安定的に提供することを通じて、健康で安全な食生活に貢献し、株主の皆様を始めとする各ステークホルダーのご期待に応える企業を目指して参ります。

さて、当社第77期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）決算を終了いたしましたので、営業の概況につきご報告申しあげます。



取締役社長 浅倉 三男

1 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の改善等を背景に景気は持ち直しつつあり、企業収益に一部回復の兆しが見える一方で、国内の自律的回復力は乏しく、雇用や所得環境は依然として好転せず、個人消費は伸び悩み、緩やかなデフレ状況が続きました。

当連結会計年度の海外原糖市況は、期初13.68セント（ポンド当たりニューヨーク粗糖現物相場。以下同じ。）で始まりましたが、ファンド、投機筋のポジション調整の売りが出たことから4月6日には当期間最安値の13.34セントまで下落しました。その後は天候不順の影響によるブラジル、インド等主要生産国の大幅減産により1月29日には当期間最高値の30.64セントをつけましたが、インドの生産回復等により20.34セントまで下落して当連結会計年度を終了しました。かかる状況の下で、当社の原糖部門は慎重な原糖買付けと為替予約を行いました。

国内精糖市況につきましては、東京市場現物相場（上白糖大袋1kg当たり）は期初163～164円で始まりましたが、海外粗糖相場の高騰により3月20日に182～

株主の皆様へ

183円に上昇し、そのまま当連結会計年度を終了しました。

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりです。

①食品事業

砂糖営業部門

砂糖取引では個人消費の冷え込みから

砂糖需要が減退する中、効率的な営業を推進することにより、国内販売数量及び三国間砂糖取引の扱い数量はいずれも所期の計画を達成しました。しかし、糖化品取引では需要期の天候不順により飲料メーカー向け販売数量の減少を余儀なくされました。一方、海外粗糖相場が高騰する中、適切な価格での原糖買付けを行うとともに、国内においては価格改訂の取り組みを行い、適正価格での販売に努めました。

以上により、同部門全体での連結売上高は24,313百万円（前年同期比237百万円増）となりました。

砂糖製造部門

横浜市及び大阪府泉佐野市の両工場における精糖共同生産はそれぞれ順調に推移し、製造コストの一層の低減を図りましたが、生産量は前年同期と比べやや下回りました。

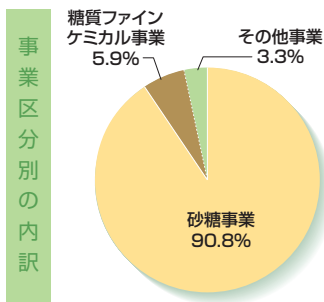
オリゴ糖部門

当部門におきましては、市販用製品は前期に引き続き「オリゴのおかげ」テレビCMを放映し、また新聞雑誌への広告掲載、店頭でのキャンペーン施策等を実施し、家庭用「オリゴのおかげ」ブランド製品の一層の浸透を図りました。また、「カルシウムの吸収促進」効果を付加したプレミアムタイプ「オリゴのおかげダブルサポート」の販促を強化しました。業務用製品は飲料・菓子等ユーザーに対し新規商品開発の提案営業に努めました。この結果、売上高は前年同期比102%となりました。

以上により、同部門全体での連結売上高は811百万円（前年同期比18百万円増）となりました。

サイクロデキストリン（CD）部門

当部門におきましては、CD一次品（素材としてのCDそのもの）の売上高は、練り製品向けや冷凍食品向け販



売数量は前年同期並みで推移しましたが、飲料向けが主力ユーザーの仕様変更により大幅に減少したため、販売数量は前年同期を下回りました。CD二次品（CDで加工した製品）の売上高は健康食品向け販売数量が低調だったことにより、前年同期を下回りました。

また、メタボリックシンドローム対応商材として、血糖値上昇抑制と体脂肪蓄積抑制作用を有する「サラシア属植物」を原料とする加工製品「サラシア属植物エキス末（素材品）」の販売に努めましたが、売上高は前年同期を下回りました。

以上により、同部門全体での連結売上高は764百万円（前年同期比63百万円減）となりました。

研究開発部門

当部門は、バイオ製品（オリゴ糖、CD）の生産コスト低減と新たな機能性開発に努めました。整腸と免疫調整機能を有するα-結合ガラクトオリゴ糖は飼料分野の用途開発、肝機能改善効果を有するグルクロン酸については低コスト製造法の開発を継続し、それぞれ一定の成果をあげました。また、分子カプセル化技術を応用した新素材・商品の開発に取り組みました。

以上の結果、食品事業部門の連結売上高は25,888百万円（前年同期比192百万円増）、連結営業利益は1,692百万円（前年同期比568百万円増）となりました。

②不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備賃貸等により、連結売上高は874百万円（前年同期並み）、連結営業利益は152百万円（前年同期比11百万円減）となりました。

この他、商標権償却費負担の大幅な減少等により、経常利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの連結業績につきましては、連結売上高は26,763百万円（前年同期比191百万円増）、連結経常利益は1,443百万円（前年同期比562百万円増）、連結当期純利益は1,054百万円（前年同期比420百万円増）となりました。

② 対処すべき課題

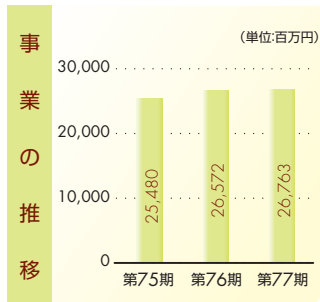
平成22会計年度のわが国経済は、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されるものの、雇用情勢の厳しさや所得の伸び悩みが残り、個人消費の本格的回復には時間がかかることから、引き続き厳しい経営環境が続くことが予想されます。また原糖及び為替相場の変動、原油価格動向等の不安定要素が懸念されることから、当社及び当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くものと思われま

す。海外原糖市況は、粗糖の主要な輸出入国の動向、ファンド資金の動き、原油価格の変動、為替相場動向等により、今後も予断を許さない相場展開が続くものと思われま

す。国内精糖市況は、個人消費が伸び悩む中、高甘味度甘味料など砂糖と競合する商品との競争を余儀なくされ、砂糖販売競争は激化し、厳しい状況が続くものと思われま

す。かかる状況下で、当社は総発売元である株式会社パールエースと一体となって顧客満足を第一義とする営業に努め、取引先との信頼強化を図って参ります。また、東西の精糖共同生産体制を着実に推進し、高品質で安全な製品を安定的に供給するとともに、生産、販売両部門の連携を一層深め、環境変化に対応しうる効率的体制の構築を推し進めることにより、コスト競争力を高め、経営基盤のさらなる強化に努めて参ります。

オリゴ糖部門におきましては、「オリゴのおかげ」シリーズ製品の品揃え充実を図り販売チャネル別に拡販に努めて参ります。また、トクホ・機能性部分について、さまざまな媒体・機会を利用し啓蒙を中心とした広告宣伝を継続して実施して参ります。店頭販促では、各種キャンペーンやフェアへの参加、並びにクーポン等の販売促進策を含めて新規の購入顧客の獲得とリピーターの定着化に取り組み拡販を目指します。一般業務用につきましては、新規ユーザーの開拓、既存ユーザーのフォローに取り組み拡販に努めて参ります。



サイクロデキストリン（CD）部門におきましては、CD一次品は新規用途の開発、CD二次品は新素材商品を中心に積極的に拡販に努めて参ります。また、糖質研究所と連携をとりながら、CDを用いた血糖値上昇抑制機能や脂肪蓄積抑制機能を有する新商品の開発に取り組んで参ります。

研究開発部門におきましては、バイオ製品（オリゴ糖、CDなど）のさらなる生産コストの低減と新たな機能性と用途の開発に取り組んで参ります。また付加価値の高い新製品の早期開発及び新技術・新素材の早期実用化に努めて参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

T O P I C S

●テレビCMを放送（平成21年4月～5月、平成22年3月）

出演：羽佐間正雄さん・王理恵さん



●女性誌に広告掲載『ESSE』、『LEE』（平成21年12月、平成22年1月）

元水泳オリンピックメダリストでスポーツキャスターの田中雅美さんに、オリゴ糖+レモンを紹介していただきました。



平成21年12月号『ESSE』

連結財務諸表の概要

● 連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	6,181	流動負債	13,956
現金及び預金	1,285	支払手形及び買掛金	1,088
受取手形及び売掛金	1,646	短期借入金	11,296
たな卸資産	2,173	未払法人税等	253
繰延税金資産	84	未払消費税等	146
その他	991	賞与引当金	64
		その他	1,108
固定資産	22,051	固定負債	9,399
有形固定資産	12,600	長期借入金	7,659
建物及び構築物	5,090	退職給付引当金	1,323
機械装置及び運搬具	2,255	役員退職慰労引当金	183
工具器具及び備品	49	その他	232
土地	5,190	負債合計	23,356
建設仮勘定	14	【純資産の部】	
無形固定資産	163	株主資本	5,453
投資その他の資産	9,287	資本金	1,750
投資有価証券	7,063	資本剰余金	266
長期貸付金	908	利益剰余金	6,553
繰延税金資産	1,227	自己株式	△ 3,116
その他	88	評価・換算差額等	△ 577
		その他有価証券評価差額金	△ 600
		繰延ヘッジ損益	22
		純資産合計	4,876
資産合計	28,232	負債・純資産合計	28,232

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

● 連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	26,763
売上原価	21,726
売上総利益	5,037
販売費及び一般管理費	3,980
営業利益	1,057
営業外収益	784
受取利息及び配当金	267
持分法による投資利益	403
デリバティブ利益	61
その他	52
営業外費用	397
支払利息	221
支払手数料	173
その他	3
経常利益	1,443
特別利益	8
投資有価証券売却益	1
その他	6
特別損失	44
役員退職慰労金	17
固定資産売却損	10
固定資産除却損	3
その他	12
税金等調整前当期純利益	1,407
法人税、住民税及び事業税	357
法人税等調整額	△ 3
当期純利益	1,054

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

財務諸表の概要

● 貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	6,467	流動負債	13,550
現金及び預金	1,222	買掛金	786
売掛金	2,140	短期借入金	11,296
たな卸資産	1,980	未払法人税等	249
繰延税金資産	71	賞与引当金	34
短期貸付金	886	その他	1,183
その他	165	固定負債	9,194
固定資産	21,568	長期借入金	7,659
有形固定資産	11,499	退職給付引当金	1,323
建物	4,247	役員退職慰労引当金	138
構築物	566	その他	72
機械及び装置	2,230	負債合計	22,744
土地	4,383	【純資産の部】	
その他	70	株主資本	5,821
無形固定資産	158	資本金	1,750
投資その他の資産	9,910	資本剰余金	345
投資有価証券	4,432	利益剰余金	5,680
関係会社株式	2,876	利益準備金	282
長期貸付金	1,570	その他利益剰余金	5,398
繰延税金資産	960	別途積立金	2,930
その他	71	繰越利益剰余金	2,468
資産合計	28,035	自己株式	△ 1,954
		評価・換算差額等	△ 530
		その他有価証券評価差額金	△ 530
		純資産合計	5,290
		負債・純資産合計	28,035

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

● 損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	19,591
売上原価	15,254
売上総利益	4,337
販売費及び一般管理費	3,334
営業利益	1,002
営業外収益	332
営業外費用	389
経常利益	944
特別利益	5
特別損失	25
税引前当期純利益	924
法人税、住民税及び事業税	355
法人税等調整額	△ 4
当期純利益	573

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

会社概要

商号	塩水港精糖株式会社 ENSUIKO SUGAR REFINING CO.,LTD.
本社	東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号 03-3249-2381(代)
創立	明治36年12月
設立	昭和25年 7月
資本金	17億5,000万円
従業員数	96名
事業所	糖質研究所 関西営業所
工場	工場／横浜共同生産工場（太平洋製糖(株)） 大阪共同生産工場（関西製糖(株)）
関係会社	(株)パールエース、(株)イーエス、(株)おかげさま、 太平洋製糖(株)、関西製糖(株)、南西糖業(株)、 (株)ナルミヤ
株式市場	東京証券取引所市場2部
主要商品	精製糖（グラニュー糖、上白糖、三温糖、液糖他） 乳果オリゴ糖（オリゴのおかげ、オリゴのおかげダブルサポート） サイクロデキストリン（デキシーパール、イソエリート、デキシーエース他）

取締役及び監査役

取締役会長	久野 修慈	取締役	山下 裕司
*取締役社長	浅倉 三男	取締役	神崎 俊
専務取締役	藤縄 賢一	取締役	佐藤 裕
専務取締役	白石 健二	常勤監査役	毛利 保弘
常務取締役	安戸久仁彦	常勤監査役	林 文孝
常務取締役	黒田 一晴	監査役	神宮 壽雄

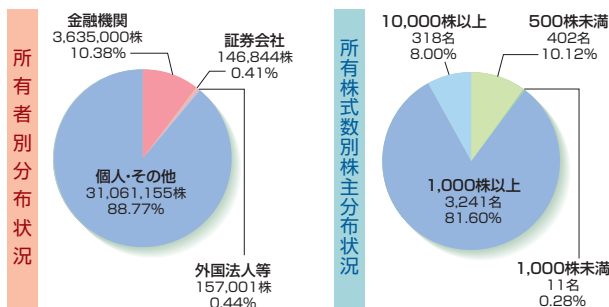
*は代表取締役です。

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	35,000,000株 (自己株式5,011,916株を含む。)
当期末株主数	3,972名
大株主	

株主名	持株数
三菱商事株式会社	8,400 ^{千株}
株式会社パールエース	2,878
株式会社みずほコーポレート銀行	1,495
三菱UFJ信託銀行株式会社	603
株式会社榎本武平商店	550
大東通商株式会社	500
南西糖業株式会社	500
株式会社みずほ銀行	451
村上真之助	390
株式会社損害保険ジャパン	340
東京海上日動火災保険株式会社	340

(注) 当社は自己株式5,011,916株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。



おなかの健康管理は

「オリゴのおかけ」[®]に

おまかせ下さい!

●ティースプーン2杯から、
毎日の健康習慣はじめましょう!

おなかの調子を
整えます!

オリゴのおかけ
300gボトル
(お一人で約1ヶ月分)



ビフィズス菌とひと言でいってもその種類はたくさんあります。

「オリゴのおかけ」は自分のおなかの中で日夜頑張っている自分自身のビフィズス菌を増やすトクホ商品です。



ダブルサポートは
プレミアム・タイプ!

サポート1

腸内のビフィズス菌を増やして、おなかの調子を良好に保ちます。

サポート2

カルシウムの吸収を促進します。ヨーグルトや牛乳などカルシウムを含む食品と一緒に召し上がると効果的です。

オリゴのおかけ ダブルサポート
500gボトル
(お一人で約2ヶ月分)



「オリゴのおかけ」は全国のスーパー、ドラッグストア等でお求めいただけます。

ホームページアドレス <http://www.oligo.jp>

オリゴのおかけ

検索

お客様相談室 ☎ 0120-86-1105

〈販売元〉

株式会社パールエース

〈発売元〉

塩水港精糖株式会社